

氣 東温高校 野球部通信

第3号
令和3年2月15日

☆ 新年にあたって ☆

あけましておめでとうございます。

日頃より東温高校野球部へ多くの御支援、御声援をいただき、ありがとうございます。昨年は新型コロナウイルスの影響で満足な活動をする事ができず、今年も年始から心配なニュースが毎日報道されていました。野球ができることに感謝するとともに、日頃から応援していただく保護者やOB、地域の方々に感動を届けられるように日々の練習に励んでいきます。

これからも東温高校野球部をよろしくお祈りいたします。

野球部一同

☆ 令和3年、野球部始動 ☆

令和3年1月4日(月)より、野球部の活動が再開。まず、ミーティングを行い、昨年の反省と今年の活動について共有しました。その際、部員一人一人が今年目標を述べました。(以下記述)そして、神社へ参拝を行い、全体練習に励みました。



～ 今年目標 ～

2年生

- KK (主将) … 日頃から丁寧なプレーをする。何でも言い合えるように自分から声かけをする。
- RK (副主将) … チームにいい流れを持って来る。「いないと勝てない」と思われる存在となる。
- YT (副主将) … 打球の飛距離を伸ばす。狙い球確実にヒットできるように打撃強化を行う。
- SI (投手) … 公式戦でまず1勝し、その後も勝てるように中心となって努力する。
- KU (外野手) … 「走・攻・守」でチームを助ける。特に守備。
- AT (内野手) … ノーエラーの守備をし、チームに貢献する。

- ST (内野手) … 守備で徹底して基礎練習に取り組み、投手が安心して投球できるようにする。春までに体重を5kg増やし、打球が飛ぶようにする。
- HN (外野手) … 試合の大事な場面でいい送球ができるように、日頃の練習やトレーニングでメンタルを強化する。
- SH (捕手) … 夏の大会までの残りの練習を後悔しないように全力で取り組む。
- KY (外野手) … チャンスで打てるように、苦手な外角の練習を行う。夏の大会はクリーンナップで臨めるように練習に取り組む。
- KW (内野手) … 4番でフルイニング出場する。「走・攻・守」の力の全ての底上げ。

1年生

- KI (外野手) … スイングスピードの向上、捕球と送球の改善でチームの戦力になる。
- KI (投手) … 体を大きくするために食事やトレーニングに積極的に取り組む。
- KI (投手) … ケガなく1年間野球をし、試合で日頃の成果が出せるように練習に取り組む。
- RI (内野手) … 夏の大会までに食事やトレーニングに積極的に取り組み、体を大きくする。体重を8kg増加。
- SO (外野手) … 左打席で打つことや外野守備に慣れるために、練習に積極的に取り組む。
- HS (投手) … 「5本以上ホームラン」を打つために、「体重の増加」、「家での自主練習」に取り組む。さらに、後輩に頼られる存在となる。
- NN (内野手) … 毎日朝練に取り組み、チームの戦力になる。
- SB (投手) … 食事やトレーニングに積極的に取り組み、体重を5kg増加する。
- AM (内野手) … 「チャンスで打てる打者」となるために、毎日素振りを行う。
- HW (外野手) … 「打撃・送球」で飛ぶように基本練習に徹底して取り組む。

マネージャー

- SM … 細かいことに気を配り、活動しやすい環境作りを行う。
- MI … 部活を休まないこと。部員を支える。
- MU … 部員が練習をしやすいように環境作りに取り組む。
- HS … 見えているところだけでなく、見えないところも綺麗にする。
- MT … 勉強と部活動の両立を行う。

～ 日頃の練習風景 ～



現在は、このようにトレーニングを中心に励んでいます。3月からは練習試合が始まり、冬の練習の成果を発揮するチャンス！これからも練習頑張ります。練習風景や試合の様子を今後も掲載していきますので、楽しみに。

<編集後記>

【自分で決めたことをやり遂げる強さ】

自分で決めたことを自分自身でやり遂げる。また、チームの決め事を全員で徹底して遂行していく。一見、実にシンプルで簡単なことのように感じますが、現実には直面してみると何らかの理由により（理由をつけて）、できなくなっていくことがよくあります。

「自信」という言葉があります。「自信」に満ち溢れている心の状態は、自分たちが最高のパフォーマンスを発揮し、良い結果を得るために不可欠な重要な感覚であると言えるでしょう。私は「自信」とは「自分への信頼」であると思っています。そして「自分への信頼」とは、自分の決めたことをやり遂げる日々の中で培われていくものであると思っています。一方で自分の決めたことさえもやらない自分自身を裏切ってきた人には得ることのできないものであると思っています。

12月からアウトオブシーズンに入り、チームの真の力を養っていく重要な時期になりました。チームの決め事を「徹底」すること、自主練習、体作りのための食事、進路実現のための日々の学習、家族の一員としての役割、それぞれについて実現が可能であるノルマを設定し、日々確実にやり遂げてください。「自分で決めたことをやり遂げた強さ」が「自信」に満ちたパフォーマンスに確実に繋げてくれるはずです。

(監督 堀内準一)